

学校だより

強く 正しく 美しく

心と知恵と技をとぐ
上峰っ子の育成

児童数 582 名

No. 2 6

令和8年1月30日 文責 校長 林 寛



来週水曜日(2/4)は「立春」です。日本では昔から、立春の前日(節分)に「豆まき」をして、鬼を追い払い、「幸せという福が来ますように」と願いを込めるという習わしが続いていましたが、今はどうでしょうか？最近では、関西から広がってきた、「恵方巻」や「ロールケーキ」を食べることで、豆まきの代わりにというものも広まっています。子供が小さいときには、我が家でも恒例行事としてやっていました(もちろん、は私です)。節分は、立春・立夏・立秋・立冬の前日のことを指すので、本来1年に4回あるのですが、立春前の節分の行事以外は、あまり目立ちません。2月3日の節分が次の学年に向けて「泣き虫鬼」「怒り鬼」「散らかし鬼」「ごまかし鬼」など自分の中にあるいやな鬼を追い出し、「なりたい自分」「つきたい力」などの福を考える機会になると良いですね。



鬼が出てくる話といえば、今は「鬼滅の刃」かもしれませんが、「桃太郎」「こぶとりじいさん」など、日本には鬼が出てくる昔話がたくさんありますが、おすすめの昔話は、やはり「泣いた赤鬼」です。



お年玉の使い道は？

楽しかったクリスマスとお正月が終わって、約1カ月経ちました。子供たちがお正月に楽しみにしていたお年玉の使い道は把握されていますか？今、子供たちが持っている財布の中身をご存知でしょうか？いくらぐらいのお金を持っていて、何に使っている(使おうとしている)のか？残りのお金はいくらか？など、大人がきちんと関わることで、正しいお金の使い方や大切さを身につけてほしいと思います。この時期にお年玉の使い道を振り返ることは、家庭で金銭教育を実施する良いタイミングかもしれません。電子マネーをお小遣いにしている子供もいると聞きますが、子供たちのお金が急に減った(増えた)、知らないうちに物が増えた等、気になることがあれば、学校にご相談ください。



上峰小の食育

前号で「全国学校給食週間」の話題を扱っていましたが、上峰小では、以前から栄養教諭を中心に「食育」に年間を通して取り組んでいます。下の写真の左2枚は4年生の学活の授業で、食品の栄養についての授業を担当の先生と栄養教諭が協力して進めていました。子供たちが自分で考えた1食分の食事のメニューについて入力すると、赤・黄・緑の各群の栄養バランスが一目でわかるタブレットPCのソフトを使っていました。また、左から3番目の写真のように、6年生の家庭科の調理実習にも栄養教諭が入り、調理へのアドバイスや専門的な話などをしてれています。栄養教諭は、日常的な給食時間の指導はもちろんですが、それだけでなく、どのクラスにも年に少なくとも1回は入るようにしています。他にも給食委員会の子供たちの呼びかけによって、全校で取り組んでいる「バックバックウィーク」などもあります。



寒い中でしたが、各学年の縄跳び記録会への応援、ありがとうございました。自己記録への挑戦が中心になる記録会です。1回でも数秒でも記録が伸びたり技ができたりすると次への挑戦につながっていきますね。

